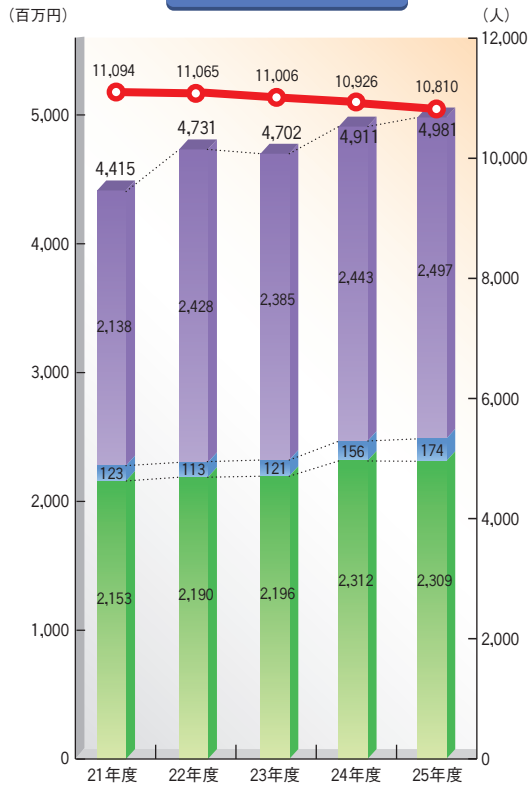


上三川町

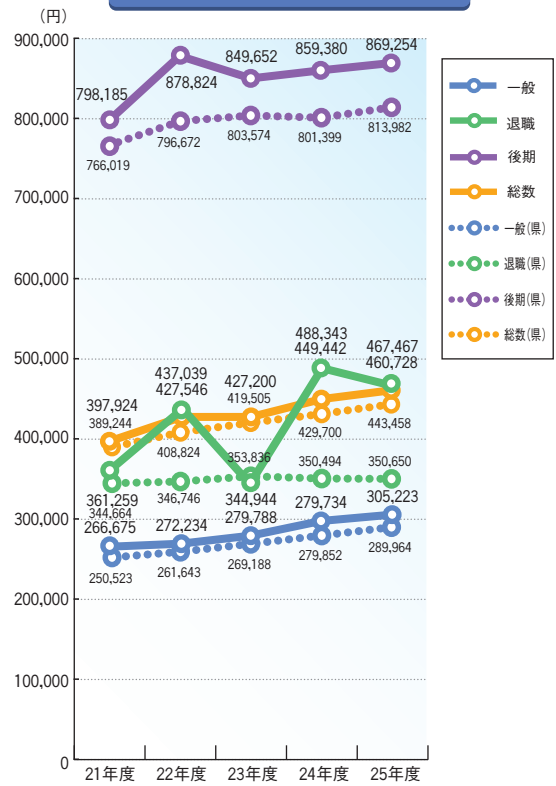
上三川町



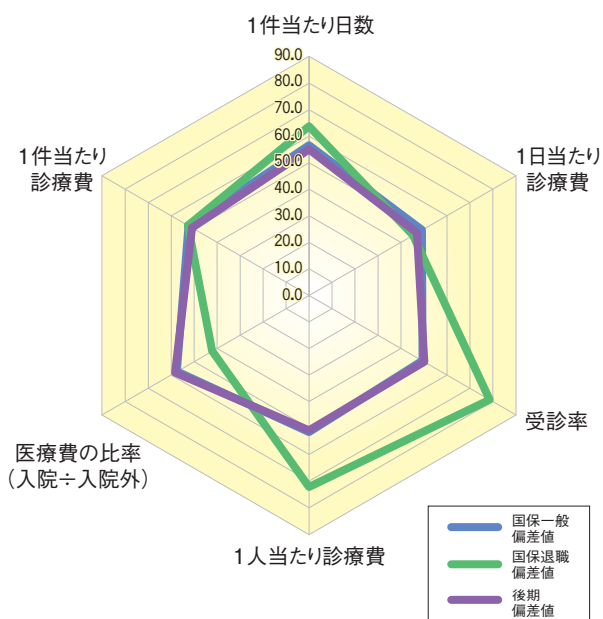
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

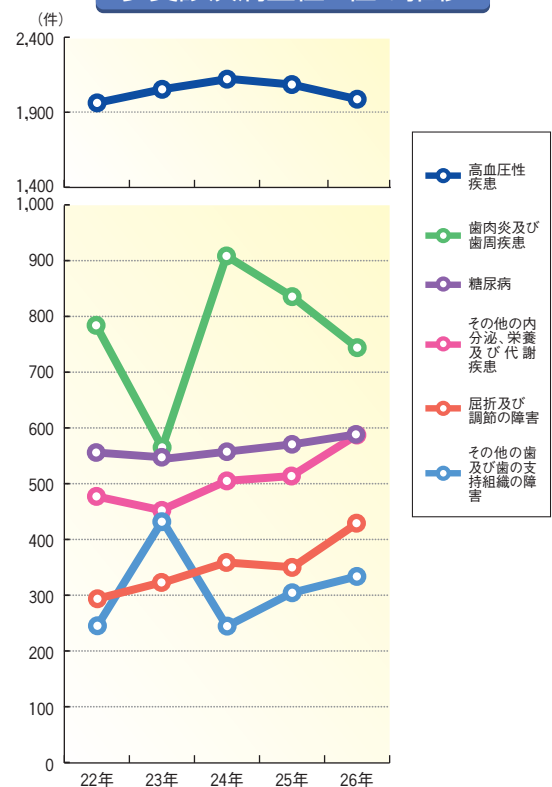


平成25年度
3要素と医療費諸費(県平均との比較)

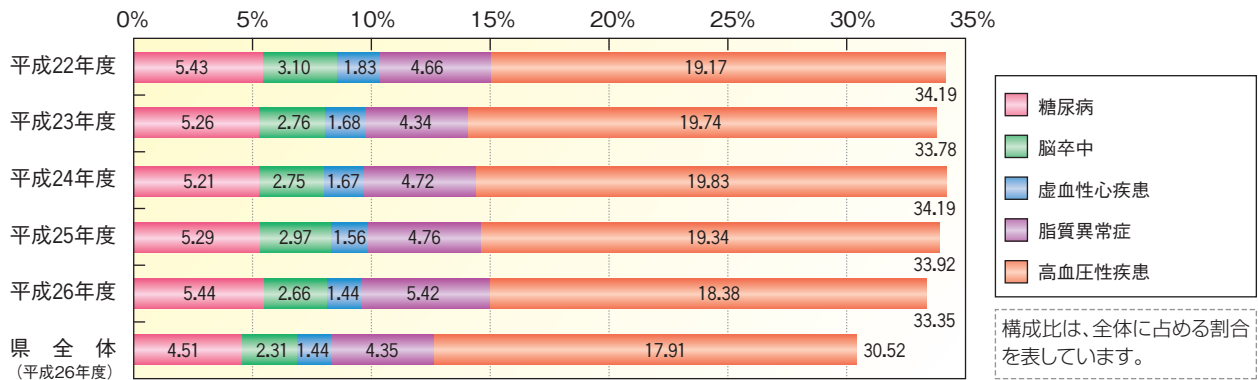


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

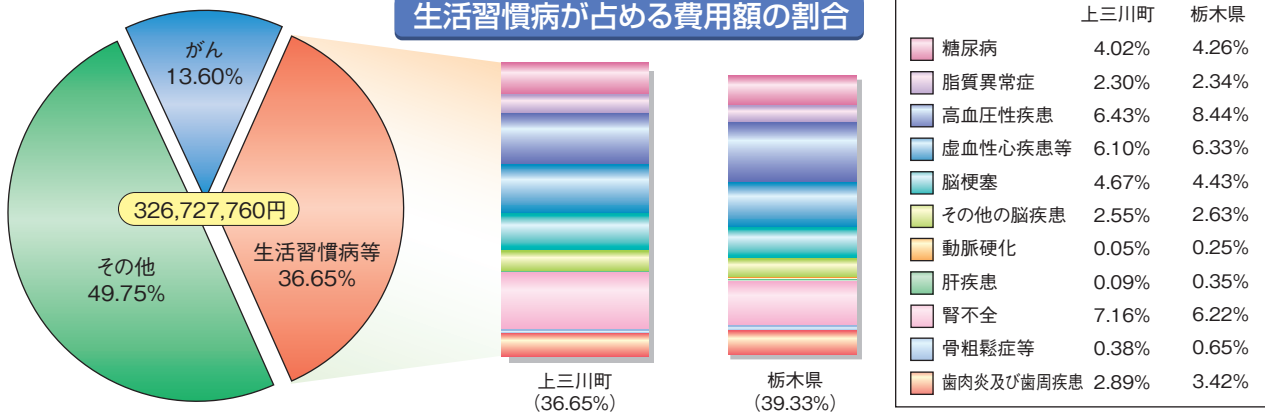
多受診疾病上位6位の推移



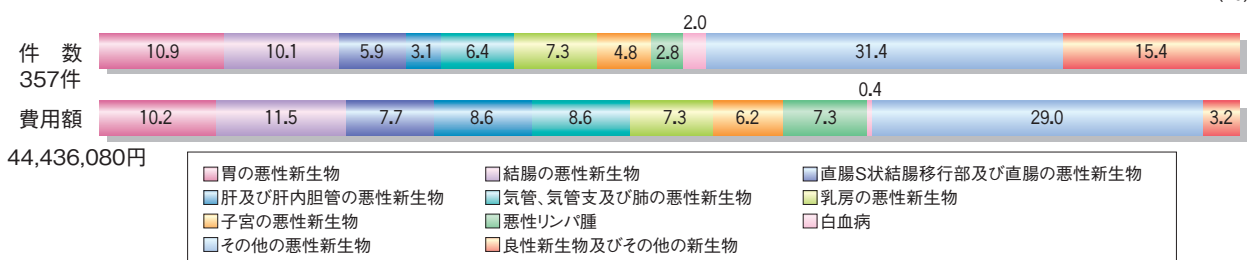
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



上三川町の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成25年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般2,308,705千円(99.9%)、退職174,365千円(111.9%)、後期2,497,439千円(102.2%)で、全体では4,980,509千円(101.4%)と増加している。()は前年度との比較。

平成25年度平均被保険者数は10,810人で、内訳は一般7,564人、退職373人、後期2,873人である。前年度比較すると全体で98.9%と減少している。

また、平成25年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は460,728円(11,286円増)、一般は305,223円(7,489円増)、退職は467,467円(20,876円減)、後期は869,254円(9,874円増)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、いずれの法別も1日当たり診療費において県平均を下回る偏差値となっており、それ以外の諸率は一般の受診率、退職の医療費の比率以外、県平均を上回る偏差値となっている。

★疾病の状況

平成26年5月診療分の件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位糖尿病、4位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、5位屈折及び調節の障害、6位その他の歯及び歯の支持組織の障害で、中でも5位の屈折及び調節の障害は、平成22年と比べ件数は1.46倍、費用額は2.88倍となっている。

また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ5疾病全体の構成比は高く、中でも脂質異常症が平成23年度以降増加している。

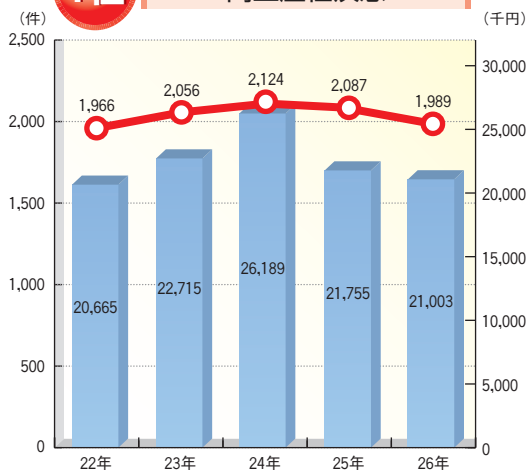
生活習慣病が占める費用額の割合では、平成26年5月診療分の総費用額が326,727,760円で、がんが13.60%、生活習慣病関連が36.65%を占めている(県全体 がん11.61%、生活習慣病関連39.33%)。費用額の占める割合が高い疾病は、腎不全7.16%、高血圧性疾患6.43%、虚血性心疾患等6.10%、となっている。

がんの部位別の件数及び費用額の割合をみると、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数、費用額ともに胃の悪性新生物、結腸の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6 の年次推移

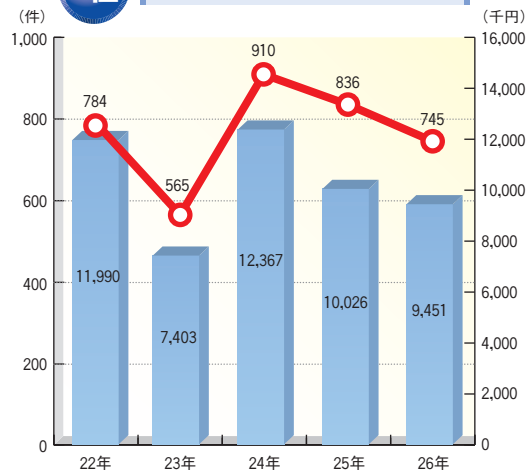
1位

高血圧性疾患



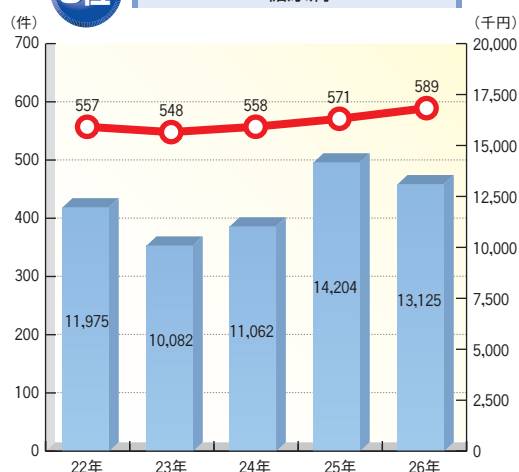
2位

歯肉炎及び歯周疾患



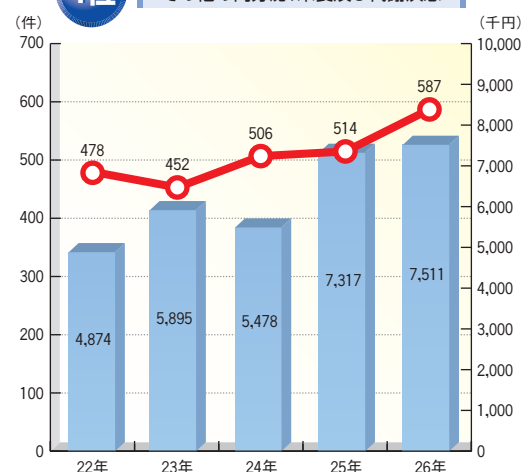
3位

糖尿病



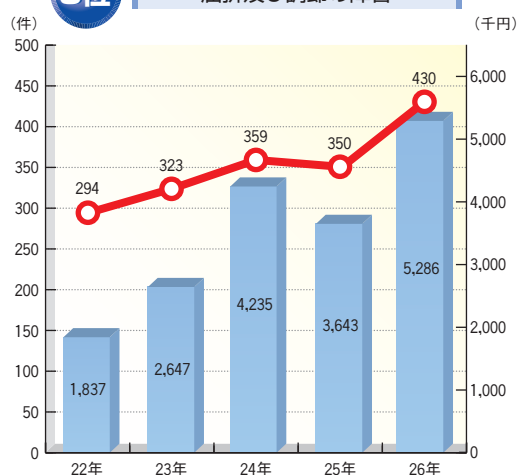
4位

その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



5位

屈折及び調節の障害



6位

その他の歯及び歯の支持組織の障害

